



## アラスカは、なぜアメリカの一部いちぶになったの

### アメリカがロシアからか買ったから

アラスカは、アメリカの最北部さいほくぶにある面積めんせきの広い州しゅうです。アメリカ本土ほんどとは、カナダの広い国土こくどをはさんで、向かい合っています。

アラスカは、もともとエスキモーやインディアンが住む地域す ちいきでした。1741年にロシア人のベーリングが、アラスカ海岸かいがんに到着とうちやくしてから、ロシアの領土りょうどとされてきました。

1867年に、アメリカは、ロシアから、アラスカを720万ドルで買いとったのです。

1897年に金鉱きんこうが発見はっけんされたのをきっかけとして、鉱物資源こうぶつしげんの開発かいぱつが急速きゅうそくに進められました。そして、1959年には、アメリカ合衆国がっしゅうこくだい第49番目の州ばんめ しゅうとなりました。

1961年から石油せきゆの開発かいぱつが始まり、アラスカは、アメリカでも有数の石油産地ゆうすう せきゆさんちになりました。現在、アラスカの産業さんぎょうは、鉱業こうぎょう（石油せきゆ、天然ガスてんねん）、漁業ぎょぎょう、林業りんぎょうが中心ちゅうしんです。

### 「大きい国土おお こくど」といわれる州しゅう

「アラスカ」というのは、インディアンのことばで、「大きい国土おお こくど」という意味いみです。その名前なまえのように、面積めんせきは、約152万平方キロメートルもあります。これは、日本の国土こくど面積めんせきの4倍の広さにあたります。しかし、人口じんこうはわずかで、約60万人やく まんにんくらいしかいません。

アラスカは、氷河ひょうがとフィヨルドなどの自然環境しぜんかんきょう、クジラ・クマ・タカなどの野生動物やせいどうぶつ、ゴールドラッシュの町まちなどの観光資源かんこうしげんにめぐまれ、世界各地せかいかくちから多くの観光客かんこうきゃくが訪おとずれます。  
(監修・保岡 孝之)

